



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[10月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.23」国立保健医療科学院 生活環境研究部 水管理研究領域 上席主任研究官 島崎 大氏を訪ねて 水道と医療分野の橋渡しにもっと安全な水道水を目指す…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「注目のイベント」節目の第50回設備展開催へ 第50回管工機材・設備総合展～暮らしを支えて50回 未来を変える設備展～…東京都管工事工業協同組合 ◎環境経済観測調査(環境短観)平成30年6月調査確報値の公表について…環境省 ◎建設業の人材確保・育成に向けた取組の概要を公表します～厚生労働省・国土交通省の平成31年度予算概算要求の概要…国土交通省 ◎国土管理の取組がマンガになりました！～「マンガでわかる！国土管理～カンタとリコの訪問記」の公表～…国土交通省 ◎中小企業等で働く従業員向けの人材育成プラットフォームを公開します…経済産業省 ◎「環境省気候変動適応施策パッケージ」の取りまとめについて…環境省 ◎平成29年(2017)人口動態統計(確定数)の概況…厚生労働省 ◎平成30年北海道胆振東部地震に係る災害に関して被災中小企業・小規模事業者対策を行います…経済産業省 ◎「建設技能トレーニングプログラム」を作成しました！～いつでもどこでも受講可能な映像研修プログラムを公開します～…国土交通省◎「明日への道標」従順ならざるプリンシプル～白洲次郎 自立への交渉～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「工事写真撮影ガイドブック」の技術講習会開催…(一社)公共建築協会 ◎「東京ブラリルポ」幕末から明治の浮世絵師 落合芳幾、月岡芳年の展覧会開催…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「見てきたような話⑩」女のウソ…低空飛行機 ◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第4回)…弁護士 野平大魚 ◎100年クリーン。「汚物」と「水アカ」の汚れを同時に防ぐオンリーワン衛生陶器「アクアセラミック」が100万台突破…(株)LIXIL ◎建築着工統計(2018年7月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[11月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.24」茨城大学 都市システム工学科 准教授 藤田昌史氏を訪ねて 中部太平洋 環礁国を水没から守る 鍵は海面上昇より水質問題…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎人を大切に、施工能力等の高い専門工事企業の適正な評価を目指して…国土交通省 ◎河川水位情報がまとめて見られるようになりました…国土交通省 ◎日本最大級の地下空間のデジタル地図を初公開…国土交通省 ◎平成29年度における下請代金支払遅延等防止法の運用状況及び下請取引の適正化への取組等(概要版)…中小企業庁 ◎地方公共団体における耐震改修計画の策定状況及び耐震改修等に対する補助制度の整備状況について…国土交通省 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告…国土交通省 ◎平成29年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査の結果(速報値)…環境省 ◎冬季の省エネルギーの取組について…省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定 ◎建築物ストック統計の公表について…国土交通省 ◎海外展開戦略(環境分野及びリサイクル分野)の策定について…環境省 ◎福岡県・大分県・秋田県で統計開始以来最大の被害～平成29年の水害被害額の(暫定値)を公表…国土交通省 ◎「明日への道標」戦いの場にも愛がある～赤十字の恩人 アンリ・デュナン～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京ブラリルポ」吉原から山谷方面へ…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第5回)弁護士 野平大魚 ◎鋼管技術フォーラム2018 in 四国(一社)鋼管技術研究会 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所 いでこうじ ◎「見てきたような話⑪」内側に向く女性のおしゃれ…低空飛行機 ◎建築着工統計(2018年8月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

人手不足の解消へ外国人労働者の受け入れを拡大する動きが加速している。法務省は出入国管理法(入管法)の改定による予定人数として介護、外食、建設、ビルクリーニング、農業などを中心に来春から5年間で最大34万5150人という試算結果を明らかにした。このうち5～6割は外国人技能実習生からの移行を見込んでいる。

日本で働いている外国人労働者は現在約128万人で約30万人を技能実習生が占めている。ただ今年上半期だけで約4千人が失踪しており、原因として低賃金、長時間労働、パワハラ、セクハラなどが指摘されている。外国人労働者をたんなる安価な労働力と見下す風潮は後を絶たない。

わたしの職場近くのコンビニでもロシア、中国、インドなどの留学生在が働いている。外国人労働者の約2割に相当する留学生は資格外活動として週28時間以内の就労が認められている。明るい表情のときはわたしもなぜか嬉しくなり、沈んだ感じのときは何かあったのかと気になってしまう。

考古学の分野では縄文人シベリア渡來說が提唱されている。夏に野草が繁茂した時代のシベリアにはマンモスが生息し、バイカル湖周辺の人々の保存食となっていた。氷河期に南下したマンモスを追ってきた人々はサハリンを経由して約2万年前に北海道に到達する。つまりシベリアと北海道は陸続きで南方でも黒潮に乗ってさまざまな人々が渡来し、ハイブリッドな縄文文化が開花した。だれもが自由に行き来した世界を想像すると人種の違いなど無意味なものに思えてくる。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第349号

平成30年12月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884